

平成 30 年度まちづくり意見箱 ご意見等の内容と町からの回答

No.	意見者		方法	ご意見等の内容	町からの回答
	地域	性別			
1	町内	女性	投函	<p>○保育所について</p> <p>「議会だより」を読みました。「公立保育園はお金がかかるので、減らすか無くすようにする」という内容でした。まず、子供にかかる税金を減らそうとする前に、もっと節約できるお金があるはず。まず、そこをもっと話し合っしてほしいです。どうしても、子供達にも負担をかけなければならないのなら、説明会をする前に、町立保育園のメリット、私立保育園のデメリットを、町でしっかり把握してほしいです。そのために、町立、私立、両方の保育園の保護者、先生、子供にアンケートをとり、私立保育所の問題を解決した上で話しを進めてほしいです。</p> <p>町立保育所に魅力を感じ、安心して子供をあずけている人がいる事を知ってほしいです。たしかに役場からすれば、補助金は大切だと思いますが、それ目的の町政にならないことを願っています。</p>	<p>【福祉課】</p> <p>まず財政に関してですが、本町では平成 29 年に策定しました「第 3 次行政改革大綱」に基づき、行政改革を進め、財政の健全化を図っているところです。また近年、出生数の減少とともに保育施設の入所児童数も年々減っており、今後もさらなる減少が見込まれております。</p> <p>この様な状況を踏まえ、保育所のあり方については、学識経験者、保育施設等子育て支援関係団体、保護者等で構成された委員会において議論、検討を重ねてまいりました。この検討の結果を受け、保育所運営を維持していくために、適正な保育需要と供給、保育施設の規模や配置の見直しについて、保育施設適正配置基本方針を定めたところです。今後はこの方針に基づき、保育施設統廃合に関する具体的な協議等に入ってまいります。ご指摘いただきましたように、財政負担の軽減ありきではなく、将来を担う子どもたちが安心して生活できる環境の中で育つことを基底に、保護者の方々や町民の皆様のご理解とご協力を得ながら、進めていきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p>
2	町内	男性	HP	<p>○光回線について</p> <p>北広島町で公設民営方式による光回線の誘致は行わないのでしょうか。</p> <p>現在、きたひろネットが町のブロードバンドを補っていますが光ハイブリット方式の速度が不安定で大変不便です。夕方～夜にかけては下りが 10Mbps を下回り動画もちゃんと見れない状況です。また、上り回線については 1Mbps 以下の写真添付のメールも送信に非常に時間がかかります。北広島町は企業も多く、ブロードバンド回線が重要になっていると思います。テレビ電話による会議や、大量データの送受信など光回線が必須だと思います。企業誘致の際にも光回線があるとないとは大きな差が出ると思います。北広島町に U ターンで帰ってきましたが、唯一光回線が無い事が不便で住みにくいと思っています。既存のきたひろネットを光ハイブリットから光方式に変更できないのでしょうか。</p> <p>もしくは安芸太田町のように公設民営方式で光ファイバーケーブルの整備を町が行い、基地局等の設備は事業者の負担で整備してもらうような形式で整備していただけないのでしょうか。</p> <p>町から事業者へ整備の要望を上げていただくのも一つの方法だと思います。是非ご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>【総務課】</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます</p> <p>現状として、町内の一部において民間事業者によるインターネットサービスが提供されている所ですが、サービスエリアも限られていることから「きたひろネット」を使った北広島町内全域でのインターネット環境を維持する必要があると考えておりますきたひろネットの光ケーブルへの移行につきましては、現状 FTTH が最も有効な手段と認識はしておりますが投資額が甚大となるため、慎重に検討しているところです。また、民間企業との連携によるブロードバンド環境の高度化については、効果的な方法を研究してまいります</p> <p>通信速度に関しましては、課題として今後検討させていただきます。</p>
3	町内	女性	投函	<p>○春木の方にはコインランドリーがまったくないので、出来れば雨の日とか助かるのですが、お願いできないでしょうか？</p>	<p>【企画課】</p> <p>この度は、まちづくり意見箱へご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>これから梅雨時期を迎え、洗濯物が乾きにくい時期となり、コインランドリーを使用される方も多いと思います。コインランドリーについては、民間事業者が設置場所を決めて設置しております。行政がコインランドリーを設置することは、現時点では検討しておりません。</p> <p>現在、町内に 2 か所コインランドリーがあります。利用に際して、車での移動が難しい場合は、ホープタクシーなど使用して移動手段としていただければと思います。ホープタクシーの利用について分からないことがありましたら、企画課定住促進係（050-581-1856）までご連絡ください。</p> <p>コインランドリーではありませんが、北広島町社会福祉協議会の事業として、移動寝具乾燥車を持っており、自宅へ訪問して寝具類の乾燥消毒を行っております。利用については北広島町社会福祉協議会（050-5812-2680）へお問い合わせください。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

平成 30 年度まちづくり意見箱 ご意見等の内容と町からの回答

No.	意見者		方法	ご意見等の内容	町からの回答
	地域	性別			
4	町内	男性	HP	<p>○高校生の通学定期券の購入費補助金交付事業について</p> <p>町内から通学する高校生の保護者の経済的負担を軽減するとともに、公共交通の利用を促進することを目的として、通学定期券の購入費に対する補助金の交付事業を検討していただければと思います。</p> <p>是非地元に残って、一緒に地域を盛り上げてもらいたいです。</p>	<p>【企画課】</p> <p>ご提案いただきました高校生の通学定期券の購入費補助金交付事業ですが、厳しい財政状況の中、恒久的な補助事業となるため、制度化は難しい状況であります。町内で生まれ育ち、町内へ定住するといった好循環が生まれることが理想です。今後も厳しい財政状況の中ではありますが、少ない投資で最大の効果が生まれるよう様々な施策を検討・実施してまいります。</p>
5	町内	女性	HP	<p>○まちづくり拠点施設事業について</p> <p>千代田で6回（内1回は中止）のワークショップを開いておられましたが、同じようなワークショップ又は途中経過の報告や完成予想図の公開・報告会などを行う予定はありますか？大朝在住ですが、乳児を育児中というのもありワークショップは都合が合わず、どれも参加できませんでした。千代田以外の地域も開催して欲しかったというのが正直な気持ちです。今後、完成予想図を公開した上でパブリックコメントを実施していただくなどして欲しいです。</p> <p>多額の費用をかけて行われる事業ですので、6回ワークショップを開いたからOKではなく、最後の最後まで町民の声を聞く意思を感じられる姿勢を見せていただけるようお願いしております。</p> <p>ご回答よろしくお願いたします。</p>	<p>【企画課】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「まちづくり拠点施設整備」につきましては、設計業者等に係る業者選定（プロポーザル）を公開にて実施し、契約業者を決定いたしました。その後、契約業者と打ち合わせを行いながら、6回（内1回中止）のワークショップを開催し、その都度「まちづくりニュース」を町ホームページに掲載し、町民の皆様にワークショップの内容をお伝えしてまいりました。</p> <p>今後は、基本設計を完了させ詳細設計へと進めてまいります。各部屋・エリアのコンセプト・用途を作成し、完成予定図と共に町民の皆様に公開する予定です。また、情報の公開は、基本設計完成時や詳細設計完成時など、適宜、町ホームページ等を利用して行ってまいりますので、ご覧下さい。このことについてのパブリックコメントは実施しませんが、新たに整備するこの施設をどのように活用していくか、ご意見を頂ければと思います。</p>
6	町内	男性	HP	<p>○まちづくり懇談会に出席しました。盛んに意見募集を呼びかけられていますが、疑問点があります。</p> <p>（1）この活動中での「担い手」への行政として期待されている役割、動き方などの説明が不十分では？大学に入っても卒業後の個人として気ままに過ごされてもダメなのでは？</p> <p>（2）当初 29 年度中に作成されると計画されていた「ガイドライン（行動指針）」の公開はありましたか？まずこの公開と説明があってから動くべきでは？私自身、地域の常会等で出席者に多少は話しましたが、地域としてはこの活動の全貌が理解できていないように考えます。</p>	<p>【企画課】</p> <p>（1）現在検討を進めております「担い手大学（仮称）」は、少子高齢化などによる人口減少により多様化する地域課題の解決に繋がる人材を育成することを目的としております。</p> <p>担い手大学により育成する「担い手」の役割については、人材育成プログラムで学んだ知識・技術を通じて、課題解決に向けた地域ぐるみの活動に取り組んでいただくことを期待しております。しかしながら、「担い手」の育成には相応の時間を要すると考えております。人材育成プログラムについても、初年度はできるだけ幅広い町民の方の参加をいただくため、楽しく学べる初歩的な内容からスタートし、今後、年度ごとに内容のレベルアップを図っていき段階をおって担い手育成に取り組んでいきたいと考えています。また、担い手大学を卒業した方が地域課題の解決に積極的に取り組むことができるよう、人材育成プログラムの中でも、プログラムの目的についての事前学習や、地域協働の取り組み、先進事例などについての学習も行っていくことを計画しております。</p> <p>町としても、「担い手大学」の取り組みについて引き続き皆様のご意見を伺いながらより良い仕組みづくりに取り組むと共に、町民の皆様に情報発信していきたいと思っております。</p> <p>（2）まずは地域常会等でお話ししてくださったことにつきまして、お礼申し上げます。地域で話題となることで関心をもつていただくことが第一歩だと考えております。その中で行政の説明不足だったことは反省すべきことと感じております。ご指摘のあった「ガイドライン」は、現在各地域で開催されているワークショップ（芸北地域では「芸北未来会議」）の企画・運営支援も参考にしたいために遅れておりますが、今年度中の策定を目指しております。「ガイドライン」では、協働のまちづくりの基本的考え方、その方向性、住民・活動団体・事業者・行政がそれぞれ担う役割など、施策展開の方向性についてお示しすることとしております。</p> <p>「担い手大学（仮称）」や「ガイドラインの作成・公開」は「北広島町まちづくり条例」にある「町の執行機関の役割」として行う、まちづくりに関する「人材育成」と「必要な支援」の取り組みと考えております。これにより、「担い手大学（仮称）」により育成された人材を「ガイドライン」を参考にして取り組まれる活動により活かし、地域課題を解決していくような「地域住民が主体となってすすめる地域づくり」の実現を目指しています。</p>